

令和4年度行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	文化芸術創造拠点形成事業			担当部局庁	文化庁	作成責任者			
事業開始年度	平成27年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(文化創造担当)(地域文化創生本部)	参事官(文化創造担当)(事務局長) 高田行紀 文化経済・国際課 寺本恒昌			
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化芸術基本法 第4条、第14条、第35条			関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(平成30年3月6日閣議決定)				
主要政策・施策	観光立国、地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	地域の文化芸術資源を磨き上げ活用する取組や、芸・産学官連携により持続的な地域経済の発展や共生社会の実現に向けた取組を牽引する拠点を形成し、専門の人材の育成や国内外への発信などを行う取組を支援する。これにより、文化芸術資源を活用した地方創生、ひいては我が国の経済活性化、一億総活躍社会の実現に資する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	<p>○文化芸術創造拠点形成事業 地方公共団体が主体となり、地域住民や地域の芸・産学官とともに実施する、地域の文化芸術資源を活用した取組や、地方公共団体等による文化芸術の企画・実施体制を構築・強化する取組を支援する。事業実施に必要な補助対象経費のうち、総事業費の1/2以下等の条件を満たす金額を補助する。</p> <p>○国際文化芸術発信拠点形成事業(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業) 日本全国で開催されている芸術祭や地方の行事をコアとした文化芸術事業を充実・発展させ、民間企業を大胆に巻き込みつつ他分野との有機的な連携を図ることで世界にアピールできる我が国を代表する国際文化芸術発信拠点を形成する取組を支援する。事業実施に必要な補助対象経費のうち、総事業費の1/2以下等の条件を満たす金額を補助する。</p>								
実施方法	委託・請負、補助								
予算額・執行額(単位:百万円)			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	2,009	1,905	1,884	1,785	3,518		
		補正予算		803	803	-			
		前年度から繰越し	-	-	802	802	-		
		翌年度へ繰越し	-	▲ 802	▲ 802	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計		2,009	1,906	2,687	2,587	3,518		
	執行額		1,934	1,332	2,199				
執行率(%)		96%	70%	82%					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)		96%	49%	82%					
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	文化芸術振興費補助金	1,708	3,478	国際文化芸術発信拠点形成事業(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業)が令和4年度で終了するため。 重要政策推進枠:503百万円					
	文化芸術振興委託費	60	30						
	職員旅費・委員等旅費	11	4						
	諸謝金	6	5						
	庁費	0.7	0.6						
計	1,785	3,518							
活動内容(アクティビティ)	【文化芸術創造拠点形成事業】 地方公共団体が主体となり、文化芸術分野の専門の人材を活用して地域のアーツカウンシル機能の強化等に取り組みながら行う、文化芸術創造拠点形成に向けた総合的な取組に対し、事業実施に必要な補助対象経費のうち、総事業費の1/2以下等の条件を満たす金額を補助する。								
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	文化芸術創造拠点形成に向けた取組の実施	【文化芸術創造拠点形成事業】 採択事業数	活動実績	件	95	86	74	-	-
			当初見込み	件	140	100	66	43	57
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	【文化芸術創造拠点形成事業】 執行額((目)文化芸術振興費補助金) ／補助事業の実施件数			単位当たりコスト	百万円	10.2	10.5	11.6	19.2
				計算式	百万円/件	955/94	774/74	837/72	922/48

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 年度		
	【文化芸術創造拠点形成事業】参加者目標に対する実績値の割合が80%を超える採択事業が8割以上になることを目指す	採択事業のうち参加者数の目標値に対する実績値の割合が80%を超える事業の割合		成果実績 目標値 達成度	% % %	64 80 80	41 80 51	40 80 50	- 80 -	- 80 -
根拠として用いた統計・データ名(出典)	採択事業者から提出された実績報告書									
活動内容(アクティビティ)	【国際文化芸術発信拠点形成事業(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業)】 芸術祭等の文化芸術事業をコアとし、他分野との有機的な連携を図ることで継続的に世界にアピールできる我が国を代表する国際文化芸術発信拠点を形成する総合的な取組に対し、総事業費の1/2を上限とする等の条件を満たす金額を補助する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	国際文化芸術発信拠点形成に向けた取組の実施	【国際文化芸術発信拠点形成事業(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業)】 採択事業数		活動実績 当初見込み	件 件	11 11	9 9	8 8	- 8	- -
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	【国際文化芸術発信拠点形成事業(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業)】 執行額(目)文化芸術振興費補助金 ／補助事業の実施件数		単位当たり コスト 計算式	百万円 百万円/件	81.3 894/11	54 487/9	77.9 623/8	98.3 786/8		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 2年度	目標最終年度 4年度		
	【国際文化芸術発信拠点形成事業(先進的文化芸術創造活用拠点形成事業)】令和4年度までにすべての採択事業者において採択事業者が設定した達成目標に対する達成率が100%となることを目指す	採択事業者が設定した目標値に対する達成率の平均値		成果実績 目標値 達成度	% % %	82 - -	25 95 26	36 95 38	25 95 26	- 100 -
	根拠として用いた統計・データ名(出典)									
	採択事業者から提出された実績報告書									
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策	12 文化芸術の振興								
		施策	施策目標12-1 文化芸術の創造・発展・継承と教育の充実 施策目標12-2 文化芸術を通じた創造的で活力ある社会の実現 施策目標12-3 文化芸術を通じた心豊かで多様性のある社会の実現	政策評価書 URL	https://www.mext.go.jp/content/20211224-mxt_kanseisek02-000019646_12-1.pdf https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisek02-000019646_12-2.pdf https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisek02-000019646_12-3.pdf					
	取組事項		分野:	文教・科学技術	4 官民一体となった文化の振興					
		(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/report_211223_2.pdf							
該当箇所		103ページ								
事業所管部局による点検・改善										
国費投入の 必要性	項目			評価	評価に関する説明					
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。			○	補助対象事業採択予定数を上回る応募があり、実施主体や社会のニーズを捉えている。					
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	『日本再興戦略2016』に挙げられた「地域活性化やブランド力向上に資する芸術文化の魅力創造と発信」に資する事業であるとともに、『文化芸術推進基本計画』における「国際文化交流・協力の推進と文化芸術を通じた相互理解・国家ブランディングへの貢献」や「地域の連携・協働を推進するプラットフォームの形成」に資するため、国として実施する必要がある。					
政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。			○	文化芸術推進基本計画の目標・戦略に該当するものであり、優先度の高い事業である。						

事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	<p>■補助事業者の決定について 地方公共団体が策定した計画に基づき、外部有識者による審査委員会を経て、補助対象とする取組を決定している。</p> <p>■委託事業について 原則として、一般競争入札(総合評価及び最低価格)により委託先の選定を行い、選定の妥当性・競争性を確保している。また、より競争性の確保に資するよう、公告期間の見直し等を行ってきたところである。</p> <p>なお、一部、随意契約を行ったものがあるが、少額であることや一般競争に適さないものであることを理由として会計法等に則り行ったものであり、妥当である。</p>																																		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。		有																																			
	競争性のない随意契約となったものはないか。		有																																			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○																																			
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○																																			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		○																																			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○																																			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-																																			
事業の有効性	緑越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-																																			
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。		○																																			
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。		△																																			
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○																																			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○																																			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○																																			
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">事業番号</th> <th>事業名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table>		事業番号					事業名																														
事業番号					事業名																																	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、採択想定件数よりも多くの応募がある社会的ニーズの高い事業であり、事業優先度は高い。また、予算の範囲内で可能な限り、幅広く採択することにより、地域の文化芸術振興及び地域活性化に寄与している。公平性の観点では、有識者の審査による補助事業者選定や、一般競争入札による委託先選定を行うなど、その確保に努めている。																																				
	改善の方向性	より文化芸術振興及び経済活性化等に資する取組を重点的に支援できるよう、事業内容の精査や経費の適正な執行の確保に引き続き努めるとともに、事業成果等の検証を行い、今後の事業の検討に繋げる。																																				
外部有識者の所見																																						
外部有識者による点検対象外																																						

行政事業レビュー推進チームの所見

事業内容の改善

この事業は事業目的は明確であるが、予算執行に当たって、一者応札になる等の競争性が十分に働いていない状況も見受けられるため、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性を確保すべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行善等改

一者応札となった事業については、周知期間を十分に取つつ、合わせて入札に参加しなかった事業者への聞き取り、仕様書等を見直すことで、引き続きより競争性が図られるよう改善に努める。

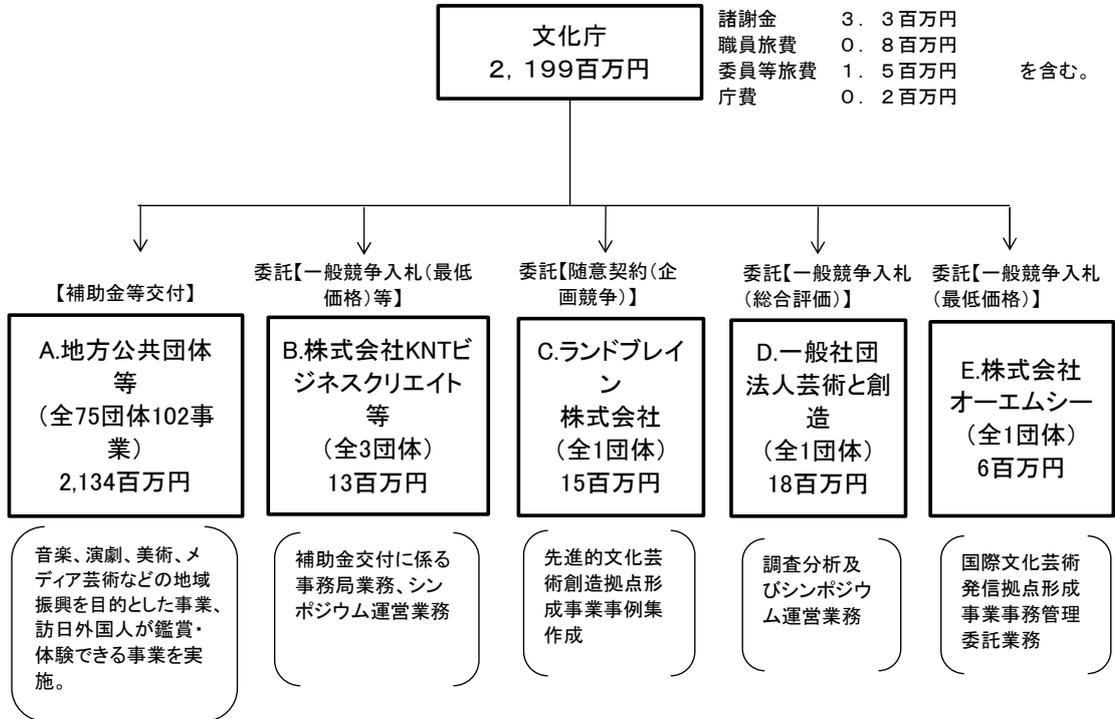
備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	-			
平成24年度	-			
平成25年度	-			
平成26年度	-			
平成27年度	新27-0039			
平成28年度	347			
平成29年度	356			
平成30年度	352			
令和元年度	文部科学省 - 0339			
令和2年度	文部科学省 0342			
令和3年度	2021 文科 20 0358			

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途 （「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額が 支出されている者 について記載す る。費目と使途の 双方で実情が分 かるように記載）	A.横浜市			B.株式会社KNTビジネスクリエイト		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	事業費	横浜芸術アクション事業	157	人件費	賃金	5
				事業費	旅費、借損料、消耗品費、通信運搬費、雑 役務費	6
				消費税相当額	人件費の消費税相当額	1
				一般管理費	一般管理費	1
	計		157	計		13
	C.ランドブレイン株式会社			D.一般社団法人芸術と創造		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費	賃金	6	人件費	賃金	16
事業費	諸謝金、旅費、通信運搬費、印刷製本費	7	事業費	諸謝金、雑役務費等	2	
消費税相当額	人件費の消費税相当額	1				
一般管理費	一般管理費	1				
計		15	計		18	
E.株式会社オーエムシー			F.			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
人件費	賃金	5				
事業費	旅費、借損料、消耗品費、通信運搬費等	1				
一般管理費	一般管理費	0.1				
計		6.1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	横浜市	3000020141003	横浜芸術アクション事業	157	補助金等交付	-	--	
2	横浜市	3000020141003	創造的イルミネーション事業	50	補助金等交付	-	--	
3	横浜市	3000020141003	横浜国際舞台芸術ミーティング(YPAM)	18	補助金等交付	-	--	
4	横浜市	3000020141003	ヨコハマ・パトリエナーレ	8	補助金等交付	-	--	
5	京都市	2000020261009	KYOTO CULTIVATES PROJECT	63	補助金等交付	-	--	
6	京都市	2000020261009	京都の美・日本の美・百花爛漫 ～日本の博覧会150年 年紀～	40	補助金等交付	-	--	
7	京都市	2000020261009	京都の文化・観光資源を活用したメディア芸術・コンテンツ産業振興事業	20	補助金等交付	-	--	
8	京都市	2000020261009	「劇場×若者＝地域創生の未来」事業	19	補助金等交付	-	--	
9	京都市	2000020261009	シルクロードいま昔	16	補助金等交付	-	--	
10	京都市	2000020261009	子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出(伝統芸能ワークショップと公演鑑賞)	10	補助金等交付	-	--	

